

「秋田大学みらい創造基金学生海外派遣支援事業」帰国報告書

記入日：2020年2月10日

所属：国際資源学部 国際資源学科 資源開発環境コース 4年

氏名：山本一毅

派遣先大学名（国）北華大学（中国）

在籍身分：留学

派遣期間：1年

渡航年月日：2019年3月1日

帰国年月日：2020年1月10日

【前学期】					
	8:00~9:45	10:00~11:45	13:30~15:15	15:30~17:15	~
月	総合	口語	聴力 313		
火	HSK3	総合	聴力 313	書画選修 (未履修)	
水	口語	総合			
木	口語	総合			
金	HSK3	総合			
土					

【後学期】					
	8:00~9:45	10:00~11:45	13:30~15:15	15:30~17:15	~
月	聴力	総合			
火	総合	口語	HSK5		
水	聴力	総合	映画鑑賞	映画鑑賞	
木	総合	口語	HSK5		
金	総合	口語			
土					

○研究・学習概容及び今後の勉学計画

授業内容は中国語の総合・スピーキング・リスニング・HSK（漢語水平試験）対策のための4種に加え、希望者は映画や書道、太極拳の課外クラスを取ることが出来ます。8時に始まり、一クラスが30分の休憩を含む二時間構成になっており、週に12クラスあります。先生方は熱心に教えてくださり、一クラスも10~15人の小規模のため学習環境は良好です。

今後の学習予定としては、現在所持しているHSK5級より更に上の6級取得を目指し、就職活動後に受験予定です。また、習得した中国語を生かし、研究で中国語の論文を参照する、日中交流イベントをサポートするなど、出来る範囲で役に立てればと思います。

○生活面について

留学生寮は川沿いの少し辺鄙な場所にあり、キッチンがやや汚いですが、食堂や防犯設備があり、洗濯機やシャワー、温水暖房が付いていて厳寒期でも快適です。寮は2人部屋ですが十分な広さがあります。学生食堂やスーパーは1kmぐらいで、30~50分ほどバスに乗れば中心街にも行けます。

留学生はインド、韓国、ロシア、ソマリアからの学生が最多ですが、その他の地域からも来ています。市内に日本人はほぼおらず、家族が吉林出身の方、日系企業や日本料理店、日本語教師の方が大半で、合わせて20人以下ではないかと思えます。

中国人は日本人と似ているようで価値観が大きく違い、美德や礼儀のこだわる部分が異なります。例えば日本では大きな声で話すのははばかられますが、中国でははっきりとした声量で話した方が信頼できるという印象を持たれます。お金儲けに関しても、日本人はギラギラしたものを隠そうとしますが、中国人はチャンスに果敢に挑戦する人が多いように感じます。全体的に大阪や播州の気風に似ているようで、私にとってはなじみ深く感じました。といっても、中国人は14億人もおりまだまだ奥は深いです。

○留学全般にわたる感想

私は所属コース生として初の語学留学生であり、北華大学が迎える初の秋大生だったため情報が乏しく、準備に当たっては窓口担当の杜威先生や国際課の方に助けていただき、現地では留学生課の方や友人たち、現地の日本留学経験者の方々に支えられ、得難い経験を積むことができました。特に、北から南まで全土を旅し、トラブルを乗り越えながら、中国に生きる多種多様な人たちと関わり合えたのは一生の財産です。



↑クラスメート達



↑留学生寮の部屋



↑吉林市風景



↑寮で開かれた国際料理大会



↑中国南部・桂林のカルスト地形



↑貴州省のミャオ族